

# 沿岸定線観測速報 ちば (2022年7月)

千葉丸：7月1~3日

千葉県水産総合研究センター  
千葉県農林水産技術会議  
令和4年7月7日

黒潮は、房総沖をやや離岸し、北東方向に直進していました(図2)。  
水温は、銚子・九十九里海域、外房海域ともやや低めでした(表1)。

(詳細)

各水深における平均水温は、銚子・九十九里海域の水深0mで平年並みであった他は、いずれもやや低め～低めでした(表1)。

水深10m,100m,200mでは、岸から沖への顕著な水温勾配が見られました(図3,図5)。犬吠埼沖の水深250m以深には低温・低塩分(8℃以下, 34.2以下)の水塊が見られ、また九十九里沖と太東埼沖でも水深100mと水深300~400mに同様(11℃以下, 34.1以下)の水塊が見られました(図5,図6)。

海面の流況では、黒潮の北側や流路で北東方向へ2~4ノットの速い流れが見られました(図2)。

水深10mのクロロフィル濃度は、大陸棚上の広い範囲で高い値(3μg/L以上)を示しました(図7)。

キンメダイ漁場は勝浦沖、銚子沖とも、水温が各水深で前年より2~5℃低め、塩分が水深30mまでは0.2前後高め、30m以深では0.2前後低めでした(図8)。

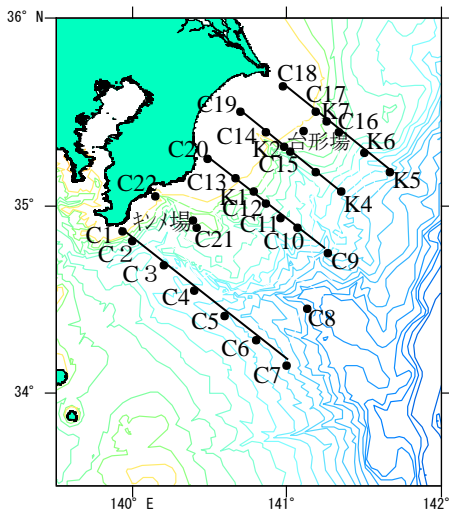


図1 調査点

線は北から犬吠埼、九十九里、太東岬、野島崎南東線

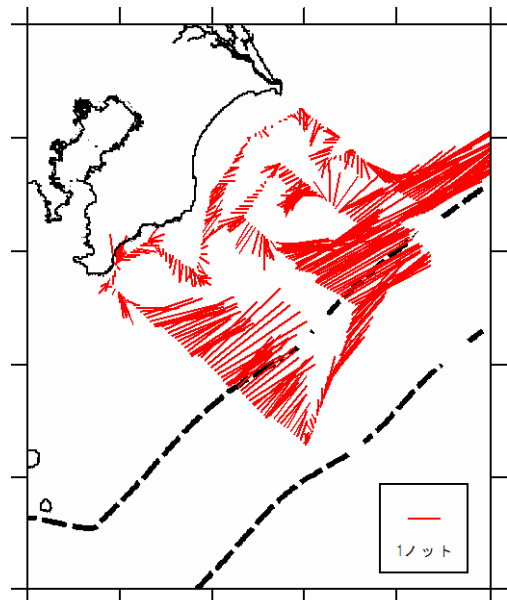


図2 黒潮流路(破線)と流況

表1 海域別平均水温(℃)と評価

| 海域      | 0m         | 50m        | 100m       | 200m       |
|---------|------------|------------|------------|------------|
| 銚子・九十九里 | 20.96 平年並み | 14.93 やや低め | 12.05 やや低め | 8.70 低め    |
| 外房      | 20.35 やや低め | 15.68 やや低め | 14.08 やや低め | 11.49 やや低め |

\* 水温評価点 銚子・九十九里海域：C14~20 計7点, 外房海域：C1,3,11,13,21,22 計6点

\* 沿岸水温評価の目安(σ：標準偏差)

|        |                               |
|--------|-------------------------------|
| きわめて高め | 2.0 σ ~                       |
| 高め     | 1.3 σ ~ 2.0 σ                 |
| やや高め   | 0.6 σ ~ 1.3 σ                 |
| 平年並み   | 0.0 σ ~ 0.6 σ, -0.6 σ ~ 0.0 σ |
| やや低め   | -0.6 σ ~ -1.3 σ               |
| 低め     | -1.3 σ ~ -2.0 σ               |
| きわめて低め | -2.0 σ ~                      |

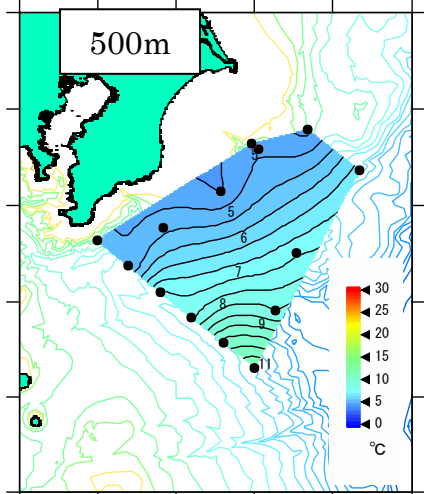
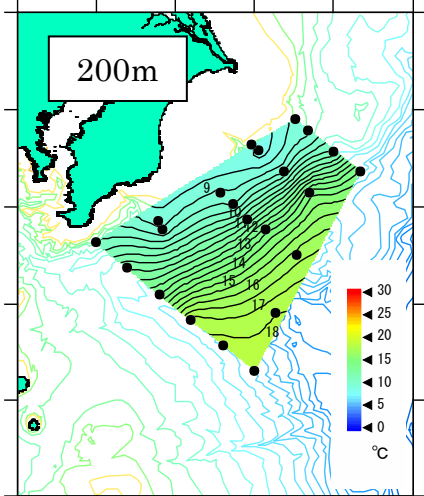
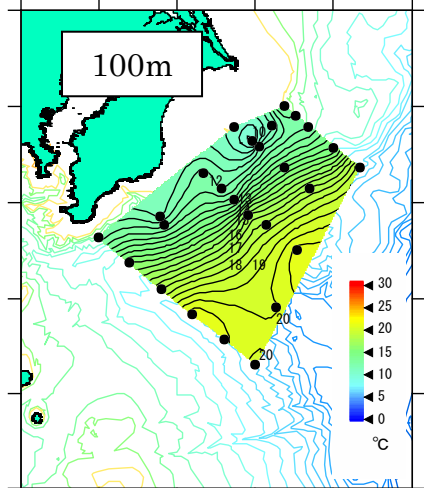
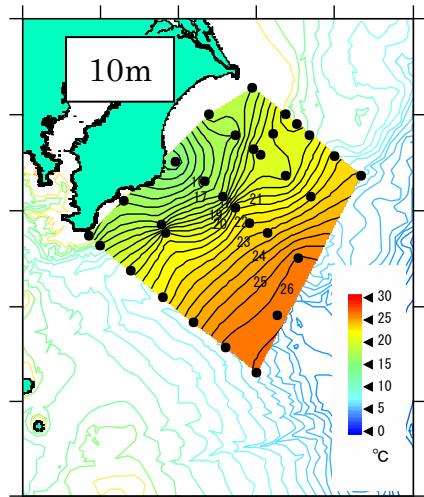


図3 水深別の水温分布

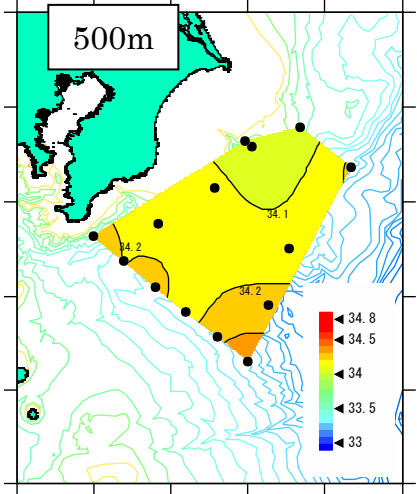
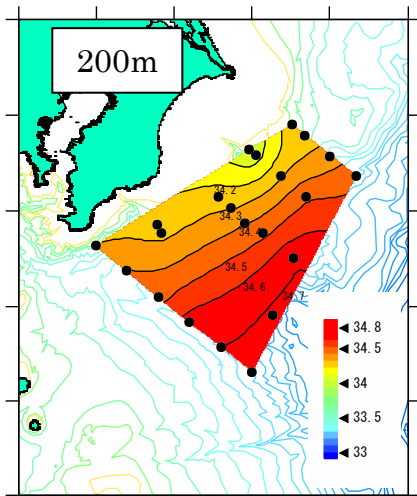
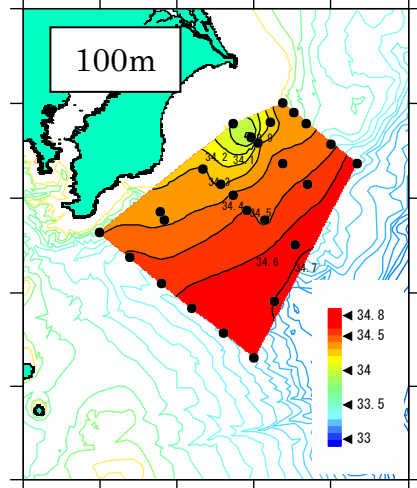
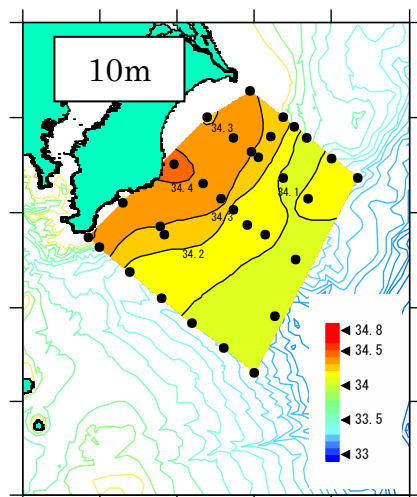


図4 水深別の塩分分布

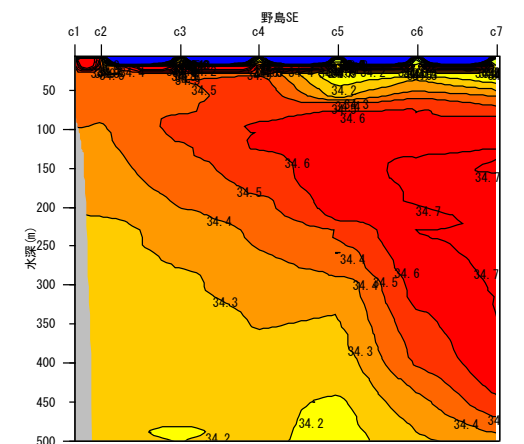
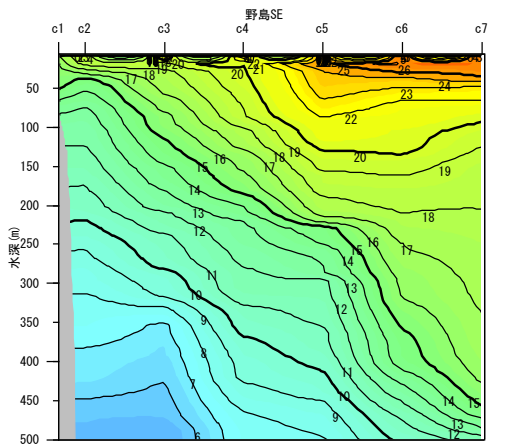
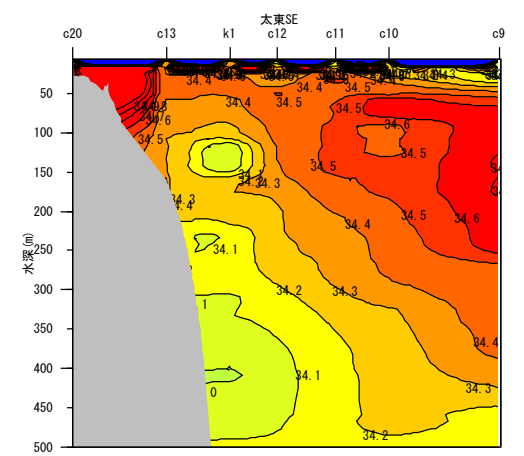
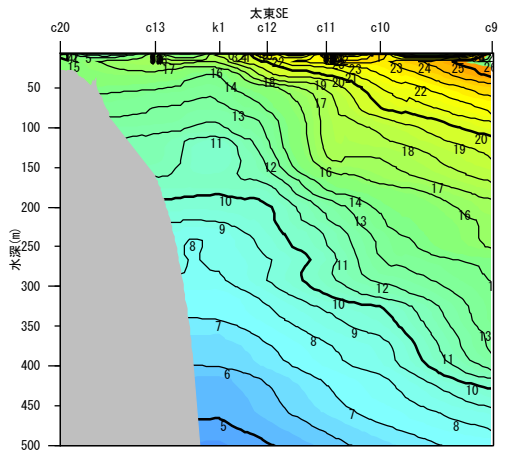
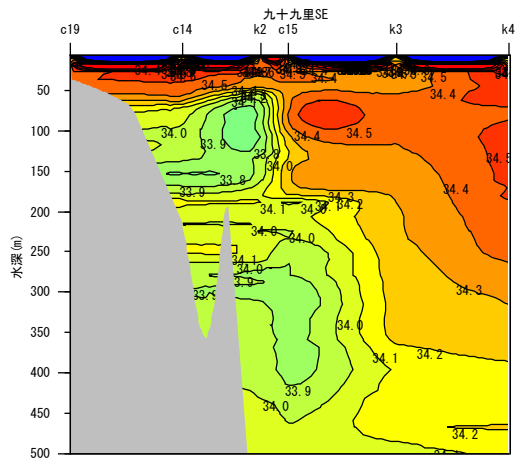
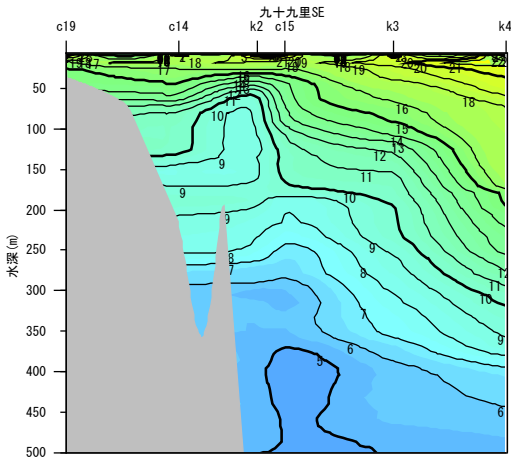
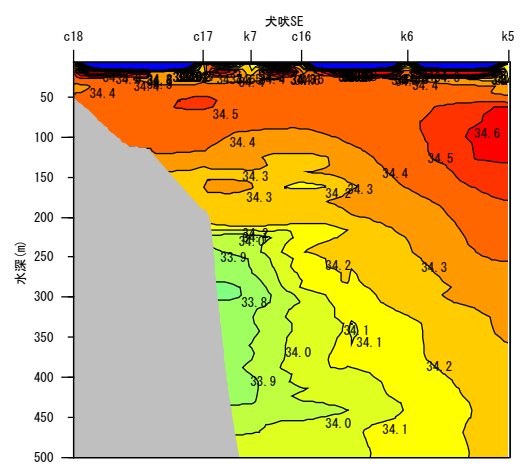
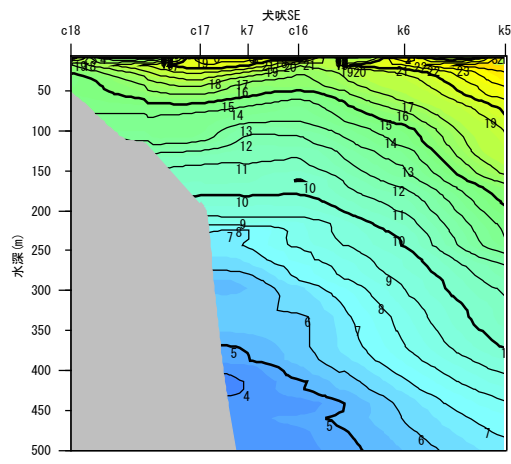


図5 水温鉛直分布

図6 塩分鉛直分布

上から犬吠埼，九十九里，太東埼，野島埼南東線（図1参照）

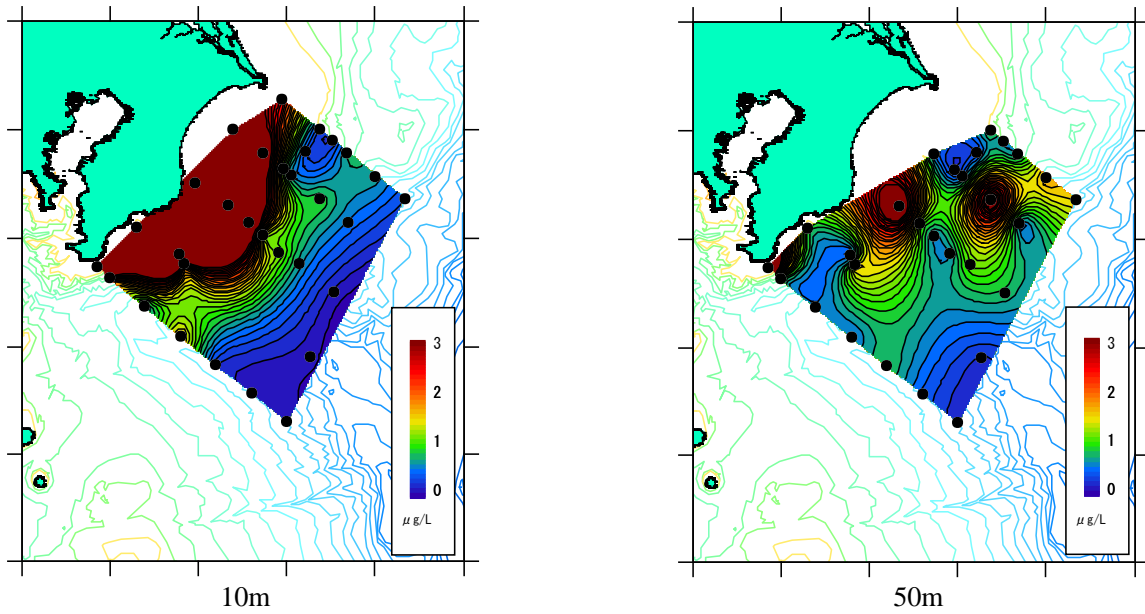
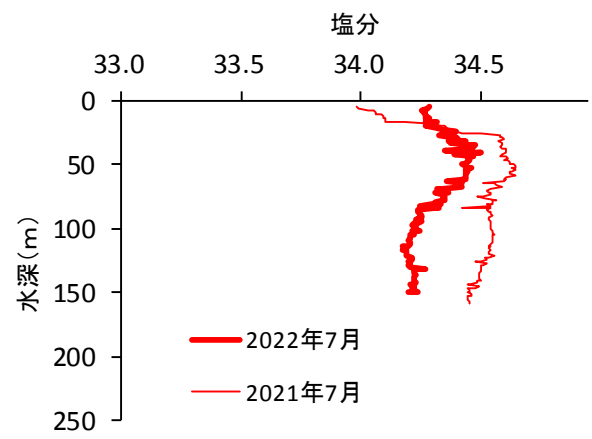
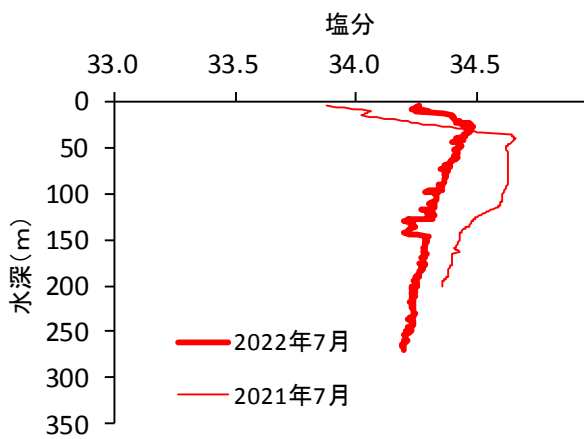
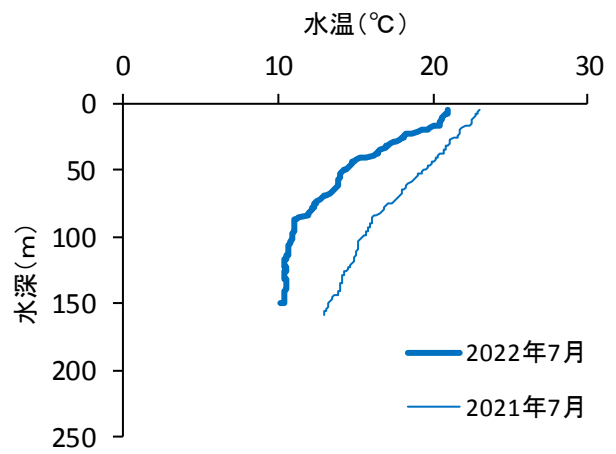
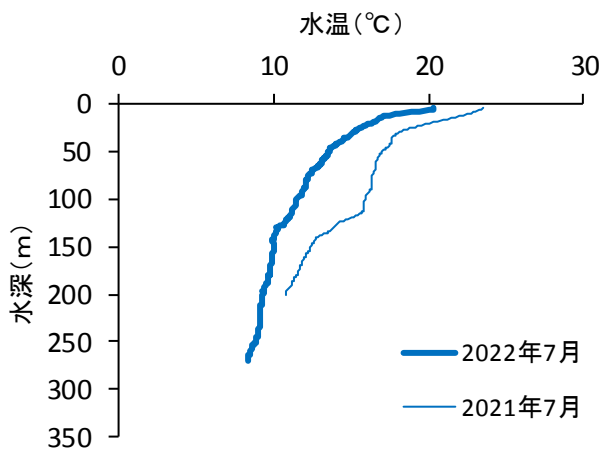


図7 水深別のクロロフィル分布 (単位:  $\mu\text{g/L}$ )



勝浦沖キンメ場

銚子沖台形場

図8 キンメダイ漁場の水温, 塩分鉛直分布 (青: 水温, 赤: 塩分)